

【教育目標 夢中になる とともに創る】



# きらきら



新潟市立沼垂幼稚園  
園だより  
令和7年12月23日発行

沼垂幼稚園 111 年目 大切にしている3つの「一」★★★「一人一人」「一緒に」「かけがえのない一年」★★★

## 劇遊びを通して

園長 関根 秀也

年長組の生活発表会で「しまえながとりのおうち」の劇遊びの発表がありました。この年長組の劇遊びの過程には、たくさんの学びがありました。

年長組は、これまでも、そして2学期後半は特に、いろいろな生き物に親しみを持ち、見たり聞いたりしたこと、絵本で読んだことなどを言葉、絵、製作で表すことを楽しんできました。繰り返し楽しく表したり、表したもので遊んだりしているうちに、今まで以上に子どもは「しまえなが」をはじめとした生き物たちに興味・関心を持ち、様子を描いたり、言葉を口ずさんだり、しぐさを真似したりするようになり、すっかり生き物たちになりきって劇遊びが始まりました。繰り返し遊ぶことをきっかけに「たくさんの人に見てもらいたい」という声が上がリ、学級みんなの目的になりました。担任は、「〇〇の劇をやろう」という具体的な言葉は言いません。見てもらいたい、表してみたいと思う気持ちを高め、話すこと・描くこと・つくることの楽しさ、絵本や空想の世界の面白さを味わうことができるようにして、子どもの興味・関心を膨らませていきました(当園の生活発表会は、発表のための発表ではありません)。

劇遊びを始める際、そして遊びが進む中、みんなで話し合い、互いに納得しながら役が決まっていきました。劇遊びをさらに楽しむ中で、風邪などで体調を崩して休む友達がいる時には、率先して一人が二役も三役もして、楽しく劇遊びができるように友達同士で支え合いました。友達の役の代わりをしてみると、その難しさや楽しさが分かって、自分の役にその経験を活かす姿もありました。また、ナレーションや効果音は、全体を俯瞰しながら進める役割のため担任が行うこともあるのですが、「やってみよう」と意欲を示した子どもが多かったので、子どもたちみんなで分担をしてやることにしました。

劇遊びは連日続き、日を追うごとに、主体的に声をそろえたり、しぐさや衣装を工夫したりする姿が増えていきました。役に合わせた歌を作ったり、楽器の音に合わせてたりする楽しさや難しさも味わいました。また、劇遊びの様子を映像にとって自身の姿を確認すること、劇遊びをする側と劇遊びを見る側に分かれて互いを見合うことで、気付いたことを友達に知らせる姿もありました。困ったときは、話し合いの場を設定し、子ども同士で解決することを見守りました。

ここまでの様子から、目的の実現に向けて、考えたり工夫したり協力したりする「ともに取り組む」姿がありました。担任は、「動きも言葉もいいね。面白いよ!」「いい表情だね。見た人も楽しいと思うよ!」などと、子どもの表現のよさを具体的に褒めたり、工夫を認めたりするなどの丁寧な援助を行い、どのように表したらいいだろうか、もっとこう

したい、という劇遊びでの「その子なりの探究」を支えました。

こうして、様々なことを学びながら、生活発表会の当日を迎えます。子どもたちは、ちょっぴり緊張しながらも自信をもって劇遊びを楽しみました。その中には、自分の演技ではないときも演技している友達の気持ちと一緒に友達を見つめる姿、ストーリーに浸り友達の演技に合わせて思わず体を動かさず姿などがありました。子どもたちの表情は、とても充実感にあふれていました。

以上のような過程で見られる姿から、当園が目指す「ともに取り組む力」が育まれていると捉えています。「ともに取り組む力」は、教師との信頼関係を基盤に、友達との関わりを深め、試行錯誤しながら、一緒に活動する楽しさや共通の目的を実現する喜びを味わう中で育まれます。また、「ともに取り組む力」の高まりによって、お互いに刺激し合い「次はこうしたらいいかな」「今度はこうやってやろう」という「その子なりの探究」も促されます。幼児期に育まれた「ともに取り組む力」や「その子なりの探究」の姿勢は、小学校での集団生活でも発揮されます。目的に向かって自分の力を発揮しながら、工夫して取り組んだり、教師や友達と協力して学び合ったりする姿につながっていきます。

当園で学ぶ子どもたちは、これから様々な場面で「ともに取り組む力」を発揮し、「その子なりに探究」する姿を見せてくれるはずです。

## 今月の「きらきらな笑顔」



生活発表会 緊張したけど、楽しかったよ!



ロシアの人形は、どんどん出てくるよ!?

さくらサンタ登場!  
夜ですよ…



2025年は、保護者の皆様から当園の教育活動を支えていただき、大変ありがとうございました。これからも、職員一同、子ども一人一人の思いや願いを大切に教育を行ってまいります。

2026年も、どうぞよろしくお願いいたします。